



働く人紹介

櫻 麻希子 さん／札幌市出身

= NTT東日本 現地サポートアドバイザー =



デジタルを活かしたよりよい暮らしを



① 現地サポートアドバイザーとして2年目になる櫻さんは、月に2週間ほど市のスマートシティ戦略室で業務を行っている。富良野市へ来るときに楽しみにしているのは、お店で食事をしながらふらのワインを飲むこと。お気に入りの銘柄は獣の晩酌。「飲みやすく、どんな料理にも合って美味しいです。」と語っていた。

② これまで行ってきた実証実験のデータを集計し、参加した人たちが何を必要としているかを世代や性別ごとに分析し、今後の市の事業などに役立てていく。

市民サービスの質を向上するため各部署の課題を聞き取りました。また、聞き取りをしたデータを分析して、課題を解決するための計画表である、ロードマップを作成するなどの取り組みを行っています。またスマートシティに向けた取り組みとして、昨年11月にスマートディスプレイを使った高齢者支援、2月に行なったデジタル健康ポイントの実証実験を受けたきっかけ

NTT東日本は、内閣府の「デジタル専門人材派遣制度」に協力し、地方自治体へ人材を派遣しています。富良野市が進めているスマートシティの考え方と、NTT東日本がスマートシティの柱とする暮らしや健康、防災などの産業への考えが一致したことから、委嘱を受け現地サポートアドバイザーに就任しました。

◎ 富良野市への支援

富良野市はデジタルに対して柔軟な人が多いと感じています。市役所内でほとんどの部署がオンライン会議を取り入れていますし、リモートワークについてもいち早く試行しています。市民のみなさんも、実証実験などの新たな試みでも快く対応してくれました。

◎ どんな富良野市にしていきたいか

今の学生たちで、進学や就職などで富良野市を去る人は多くいると思います。10年、20年後に、そのような人たちに「自然豊かな富良野に戻ってきてほしい」と思ってもらえるように、デジタルやデータを活用することで、よりよい暮らしができる富良野市を目指して協力していきたいです。

◎ 委嘱を受けたきっかけ

富良野市で働いて感じたことは

実験などについて支援をしています。

応援する事業の紹介

内閣府

デジタル専門人材
派遣制度

地方創生に積極的に取り組む市町村に対し、意欲と能力のある国家公務員、大学研究者、民間専門人材を市町村長の補佐役として派遣する制度。

また、技術革新のスピードが速く、人材ニーズも高いデジタル分野について今年度、国が創設したデジタル専門人材派遣制度に基づき、意欲と能力のある民間のデジタル専門人材を地方公共団体へ派遣しています。

図スマートシティ戦略室 ☎ 39-2305

///// 富良野で暮らし働く人たちがいて、元気なまちはつくられています。頑張っている事業所や働く人、関連する事業を紹介します /////



働く人紹介

中山 ひろみさん／富良野市出身
= けんこう・ふらの 勤務 =



入居者が笑顔になってくれることが嬉しい



④ けんこう・ふらのは1フロアに最大10人が入居可能で、中山さんは4階のフロアを担当している。リハビリ以外のときも入所者が良い時間を過ごせるように、会話を楽しんだり、レクやゲームなども行っている。

⑤ 中山さんと同じ4階フロアで働くスタッフの藤田加都枝さん(中央)と三上幸子さん(右)。同じ階にはほかにも3人のスタッフが配属され、入居者を見守りながら生活をサポートしている。

どんな仕事をしていますか

介護員として、けんこう・ふらので約4年働いています。主に、施設の利用者が安全で、不安のない生活ができるように入浴や食事などの日常生活のサポートをしてています。

働いて感じていること

介護の仕方が利用者一人一人違うことを日々感じています。利用者に合わせた介助方法であったり、サポートしなければいけないことが違うので、奥が深い仕事だと感じ、日々勉強しています。

施設の雰囲気はどうですか

スタッフ同士の距離がとても近いと感じています。私はけんこう・ふらので初めて介護の仕事をしていますが、経験豊富な人が多く、未経験者だった私にも一から丁寧に教えてくれました。

どのような人が入所していますか

この施設はけがをして手術をした人が、介護を受けながらリハビリをしています。「元気になつて自宅に戻りたい」と思っている人が多いので、リハビリに熱心に取り組んでいます。

やりがいを感じること

サポートした入所者に「ありがとう」と言われたり、笑顔になつてくれることです。元気になつた入所者が笑顔を見せながら、嬉しそうに自宅に戻っていくのを見ると、良いサポートができたと実感します。

今後取り組みたいことは

3年以上の実務経験を積むことができたので、まずは介護福祉士の国家資格を取りたいと思っています。専門的な知識や技術を習得することで、より良い介護ができるようになりたいと思っています。

今回紹介する事業所

医療法人カワムラメディカル

介護老人保健施設 けんこう・ふらの

(所在地)

末広町6番17号



応援する事業の紹介

富良野市

介護人材育成

支援事業助成金

事業所が職員の研修費用を負担した場合、事業所が負担した額の1/2を助成します。(介護職員初任者研修は最大4万円、実務者研修は最大6万円)

圆高齢者福祉課 ☎ 39-2255

///// 富良野で暮らし働く人たちがいて、元気なまちはつくられています。頑張っている事業所や働く人、関連する事業を紹介します /////



働く人紹介

五十嵐 富貴子 さん／沼田町出身
= シルバー人材センター会員 =



「働かせてもらえる」という気持ちが元気の秘訣



④五十嵐さんの趣味は家庭菜園。約40年続いているそうで、家の畠で10種類以上の野菜を育てている。得意な野菜はトマトとピーマン。

⑤シルバー人材センター事務局のみなさん。総務係長の近藤麻妃さんは、「会員さんの体調はもちろん、仕事で怪我をしないように声かけを心がけています。いつでも会員を募集しているので就労の相談など、気軽に来てください」と話す。

応援する事業の紹介

富良野市シルバー人材センター
(ふれあいセンター内)
= 春日町12番5号 =

健康のために汗を流したい、就業などの活動を通して友達を作りたいなど、目的に合わせて「自主・自立・共働・共助」の理念をもとに、自分の体力や能力、希望に応じて働くことができます。冬は除雪の仕事で男性会員を募集しています。市内在住の60歳以上の方なら誰でも会員になれますので、気軽に問い合わせください。

ふれあいセンター ☎ 22-5010

会員になつたきっかけ

シルバー人材センターの会員になつて今年で3年目になります。主人が病気で倒れ、介護が必要になり働いていた仕事を退職しました。その後主人の体調が良くなつたため、少しの時間でもいいから働きたいと考えました。そのとき、新聞に入つていたシルバー人材センターの会員募集のチラシを見て、興味を持ち入会しました。

どんな仕事をしていますか

ふれあいセンターの清掃のほか、6月と8月は街路樹の除草作業をしていました。退職するまではホテルの清掃などの仕事をしていたので、今の仕事が大変だと感じたことはありません。ふれあいセンターの清掃は、担当の日は一人で行っているので「自分に仕事を任せられている」というやりがいを感じます。

加入を考えている人にひとこと 働いていると、ふれあいセンターの利用者と話す機会があつたり、仕事で一緒になつた会員の友達ができたりと交友関係を広げることができます。高齢の方でも元気な人は、ぜひ相談に来てみてください。私は、仕事を任され「働かせてもらえる」と思う気持ちが元気の秘訣です。

シルバー人材センターの魅力は

自分の都合に合わせて仕事ができることです。会員それぞれの働く時間や曜日に合わせて仕事を依頼されるので、無理なく自分のペースで働くことができます。また、事務局の人たちがとても優しいのも魅力です。集合時間に連絡が取れない会員がいたとき、自宅まで安否確認をしに行つたことがあります。それを見て、会員のことをここまで気にかけて対応してくれるんだ、という安心につながりました。

就労相談会

2月21日(火)、3月28日(火)

新年度入会員説明会

3月7日(火)、3月14日(火)

///// 富良野で暮らし働く人たちがいて、元気なまちはつくられています。頑張っている事業所や働く人、関連する事業を紹介します /////